

恋物語や源氏の悲話など
なかはら
伝説が残る里・中原を歩く



なだらかな傾斜地に、ぶどう畑が広がる中原地区

フットパスの散策を通じて、地域の内外の皆さんに勝沼の自然や歴史文化、風土を楽しんでいただこうと、勝沼フットパスの会では、今年もウェルカムツアーを開きます。今回は通(かよい)神社の恋物語や木曾義仲にまつわる源氏の悲話など、いくつもの伝説が残る中原を歩みます。晩秋の一日、市民ガイドと一緒に歩いてみませんか。

日時 2018年11月25日(日) 午前9時～9時30分受付

スタート 午前9時30分

ゴール 午後12時ころ ※昼食後解散

集合場所 フルーツライン中原駐車エリア

甲州市勝沼町中原 534 番地付近、フルーツライン東側(山側)

※勝沼ぶどう郷駅からの送迎あり

募集人数 80人(先着順)

参加費 1人1,000円(昼食、保険料。小学生以下無料)

参加申込み 裏面の申込書、または電話で11月22日(木)までに下記まで申し込んでください。ファックス、「勝沼フットパス」のホームページからも申し込みができます。

■実施事務局 TEL0553-39-8915 (FAX 兼) まち案内&カフェ「つぐら舎」内。午前11時～午後6時 ※火曜日休み ■ある〜くこうしゅう推進協議会(甲州市観光交流課内) TEL0553-32-2111 (代) FAX 0553-32-5174

主な行程：約3km 所要時間：約2時間30分

スタート：フルーツライン中原駐車エリア～中原寺跡～塚屋古墳～通神社～旧参道～御腰掛石～鎧石～富士見石～山稼ぎ道～山の神社(かみしや)～中原公民館(中原寺跡：ゴール) ※昼食後解散



通伝説を伝える通神社



中原には石造物が多く残る

■通(かよい)神社の伝説

古事によると、中原にある通神社の祭神ニギノミコトは、一宮浅間神社(山宮)のコノハナサクヤヒメノミコトのもとへ、夜になるとお忍びで通われたといひます。かつては年に一度ご神体を持った神主が浅間神社へ御幸する祭りが行われていたといひます。

■木曾氏にまつわる伝説

木曾義仲の重臣、中原兼遠(かねとう)の子を家臣である源次郎が連れ、侍女とともにこの地に隠れ住んだといひます。源頼朝の追手が迫り防戦の末、源次郎は山上で自害、侍女は滝つぼに身を投げたといひます。以来、この地を中原、山を源次郎岳、滝つぼを女淵、侍女が住んだ場所を姥(うば)屋敷と呼ぶよ

主催：勝沼フットパスの会

協力：中原地区の皆さん ある〜くこうしゅう推進協議会 かつぬま朝市会 NPO 法人勝沼文化研究所

■ 申込方法

参加ご希望の方は、下記のいずれかの方法でお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。

◇電話：下記の申込書にある必要事項を担当窓口にお伝えください。

◇FAX：下記の申込書に必要事項を記入して送信してください。

募集期間：平成30年11月22日（木）まで

申込先・問合せ先：

○勝沼フットパスの会事務局 ☎0553-39-8915（FAX同じ）

※甲州市勝沼町勝沼2997番地「まち案内&カフェ・つぐら舎」内

※午前11時～午後6時、火曜日は休み

○ある〜くこうしゅう推進協議会（甲州市役所観光商工課内）

☎0553-32-2111（内292） FAX 0553-32-5174

※土日祭日を除く毎日、午前8時30分～午後5時15分受付

2018 勝沼フットパス・ウェルカムツアー参加申込書

下記に記入してFAXで送信してください。

① 代表者のお名前 (フリガナ)			
② 男女の別	男性 ・ 女性	③ 年代	歳代
④ お電話番号	ご自宅： ※差し支えなければ＝携帯：		
⑤ ご住所	〒		
⑥ 交通手段 ○をつけてください	A. 電車（下車駅はJR中央線勝沼ぶどう郷駅）※送迎あり B. 車（駐車場所は勝沼町中原534番地付近、フルーツライン駐車エリア） C. その他（ ）		
⑦ 参加人数(代表者を 含めた人数)	名	代表者とのご関係（友人等）・同行者の年代 ・ (歳代) ・ (歳代) ・ (歳代)	

お申し込みの際にお預かりする個人情報は、本イベントに関するお知らせのみに使用します。

それ以外の場合に申込者の許可なく、第三者に個人情報を開示することはありません。